



→小春日和の江戸川を
渡し舟がやって来る。

←今年もビワの花が咲いた。これから半年近い時間をかけてビワの実ができる。



十二月になった。今日から冬タイムにはいる。三月の中旬まで平日は休みで、土日祝祭日だけの運航になる。

十二月三日は、天候に恵まれ小春日和の過ごしやすい一日だった。

七十代のヤッさんと私、六十代の舟頭さんと、おじさん三人組の話題はあいかかわらず大相撲を引きずっている。

「もう三週間になるんだよ、九州場所は終わったというのに」

舟頭さんが口火をきった。

元横綱の日馬富士の暴行事件があつて相撲界は大もめにもめている。

「結局、暴行をした日馬富士が責任をとって引退したけど、首謀者は白鵬だと思ふんだ、僕は」

私には横綱の白鵬がこの問題の中心にいるような気がしてしょうがない。たとえば全関取を集めて理事長が講話をした席で、横綱の白鵬が「貴乃花巡業部長のもとでは参加したくない」といったそうさ。しかも場所が終わって二日しかたっていないのに「力士みんなの総意」だといったそうさ。

いくら大横綱の白鵬といえど、わず

今週のクマ

→クマは今日も土手の上から下りてくる人をじっと見つめ、品定めをしていた。



→矢切の渡しの100メートルほど下流に水陸両用バスが上陸できるよう港の工事が進んでいる。



か中一日しかなかったのに百人近い力士の意見を聞いていったとは思えない。それを「総意」とは疑問だ。

「思い上がってるよ。巡業部長を変えろとは力士がいうことじゃないよ。参加したくないなら参加させなきやいいじゃない。理事会もだらしないよ」

ヤツさんはプンプンだ。

「でも白鵬も参加させるっていうことで売ってるから、参加しないといわれると相撲協会としては困るんだよ、きつと」

巡業は相撲協会が巡業先の勧進元、つまり主催する地方の団体なり個人なりに大金で売っているので横綱が参加しないと契約違反になるから困る。

だから巡業部長は参加しなくてもいいが、横綱が参加しないと困るのだ。白鵬はそのことを知っているから参加しないとゴネるのだ。まったく卑劣な男だ。

「最近の白鵬は思い上がってるよ。嘉風戦のように自分が負けたからといって行司の軍配にクレームをつける。あんなこと許してる相撲協会もどうかと思うよ」

このままでは大相撲そのものがモンゴル人の白鵬にいいように牛耳られてしまう。なんとかしないといけない。